

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

| | |
|------|--------|
| 区名 | 鶴見区 |
| 学校名 | みどり小学校 |
| 学校長名 | 森 健 |

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 108名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

[国語]

国語科の平均正答率は6.9ポイントであった。全国の平均正答率6.7.7ポイントから1.3ポイント、大阪府の平均正答率6.6ポイントから3.0ポイント上回る結果となった。正答率分布では、中央値に近いところに二山がみられるがそれ以外は全国及び大阪府の正規分布と同様の結果となった。

[算数]

算数の平均正答率は6.2ポイントであった。全国の平均正答率6.3.4ポイントから1.4ポイント、大阪府の平均正答率6.3ポイントから1ポイント下回る結果となった。正答率分布では、低位層・中位層・高位層の3つの山がみられ、中位層にボリュームゾーンはあるもののその他にも一定数の層がみられる結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

学習指導要領の内容・領域・区分ごとにみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」が全国及び大阪府の平均を上回っている。特に、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができます。しかし、記述式の問題において全国平均を下回っていることから、自主学習ノートをさらに活用し「事実と感想、意見とを区別して書く」など、自分の考えが伝わるように書き表す力を高めていく。

[算数]

学習指導要領の内容・領域・区分ごとにみると、「データの活用」が全国及び大阪府の平均を大きく上回っている。簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出し整理することができる力がついている。しかし、記述式問題の立方体の体積の立式や理由や言葉や数を用いて記述する問題が全国及び大阪府の平均を下回る結果となった。本年度より研究教科を算数科に設定し、考えの理由を伝えることができる力をつけていきたい。

質問調査より

○「自分には良いところがあると思いますか」の質問に対して肯定的な会員数88.2ポイントとなり全国平均を43.1ポイント上回り、自分の長所が分かり自尊感情の高さを知ることができる。しかし、「将来の夢や目標を持ってていますか」という質問に対しては、73.0ポイントと全国平均を9.4ポイント下回っている。

○「土曜日や日曜日など学校が休みの日にどれぐらいの時間、勉強していますか」という質問に対し30.6%に児童が「全くしない」と回答し、全国平均の15.1%を大きく上回っている。また、平日においても10.8%と全国平均を5.3%を上回っている。

今後の取組(アクションプラン)

- 学習習慣の確立、家庭学習の充実を図り、学習意欲の向上を進めていく。
(自主学習ノートの活用、読書週間の形成)
- 授業においてさらにICTの活用を進めていく。
- 家庭学習においてデジタルドリルの活用など個別最適化された学習を提供し基礎学力の定着及び学力の伸長を図っていく。
- 教育課程全般を通してキャリアを意識した教育活動を取り入れていく。

【 全体の概要 】

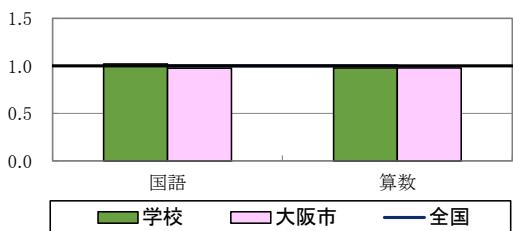
平均正答率(%)

| | 国語 | 算数 |
|-----|------|------|
| 学校 | 69 | 62 |
| 大阪市 | 66 | 62 |
| 全国 | 67.7 | 63.4 |

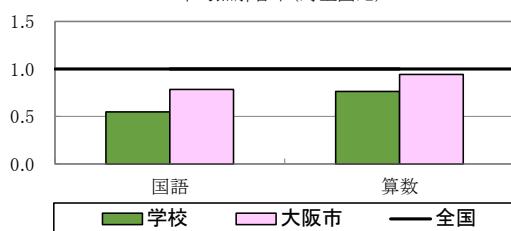
平均無解答率(%)

| | 国語 | 算数 |
|-----|-----|-----|
| 学校 | 2.3 | 2.6 |
| 大阪市 | 3.3 | 3.2 |
| 全国 | 4.2 | 3.4 |

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



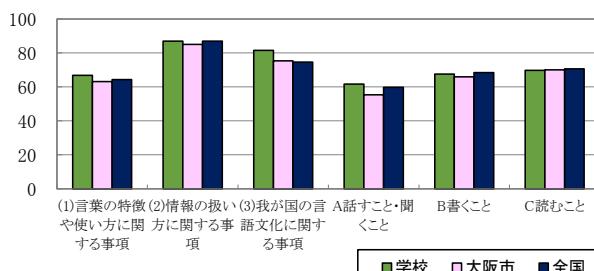
【 国 語 】

| 学習指導要領の内容 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|---------------------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1)言葉の特徴や使い方にに関する事項 | 4 | 66.9 | 63.1 | 64.4 |
| (2)情報の扱い方にに関する事項 | 1 | 87.0 | 85.0 | 86.9 |
| (3)我が国の言語文化に関する事項 | 1 | 81.5 | 75.3 | 74.6 |
| A 話すこと・聞くこと | 3 | 61.7 | 55.3 | 59.8 |
| B 書くこと | 2 | 67.6 | 65.9 | 68.4 |
| C 読むこと | 3 | 69.8 | 70.1 | 70.7 |

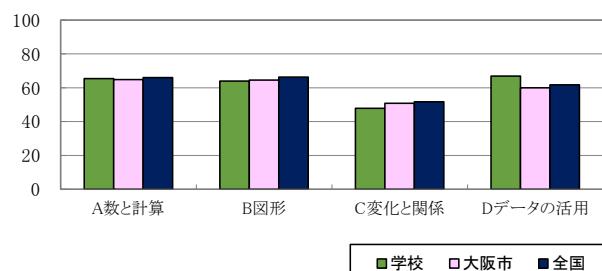
【 算 数 】

| 学習指導要領の領域 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|-----------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| A 数と計算 | 6 | 65.4 | 64.8 | 66.0 |
| B 図形 | 4 | 63.9 | 64.6 | 66.3 |
| C 測定 | 0 | | | |
| C 変化と関係 | 3 | 47.8 | 50.8 | 51.7 |
| D データの活用 | 4 | 66.9 | 60.0 | 61.8 |

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



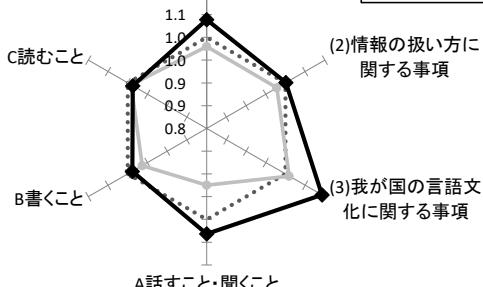
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項

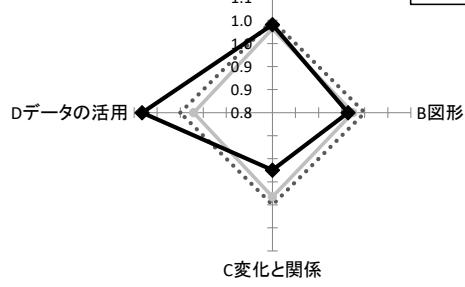
..... 全国
大阪市
学校



算数
領域別正答率
(対全国比)

A数と計算

..... 全国
大阪市
学校



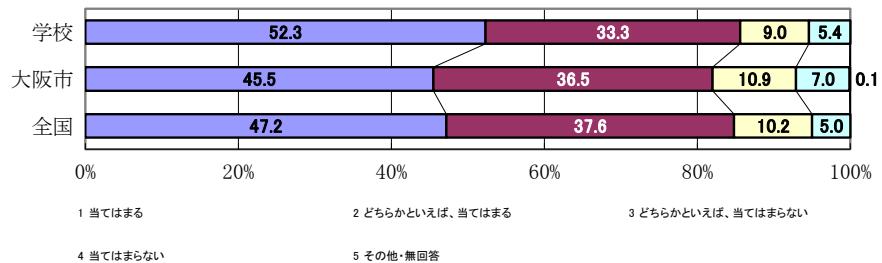
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

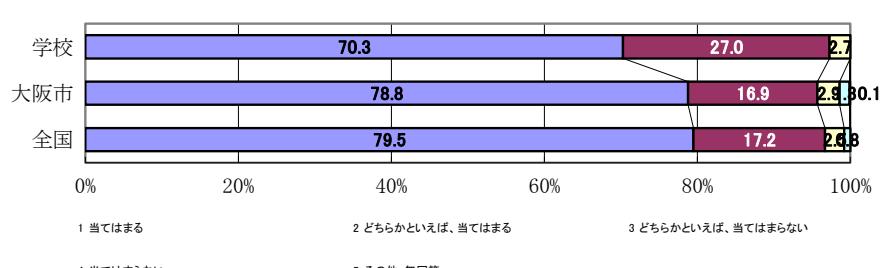
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



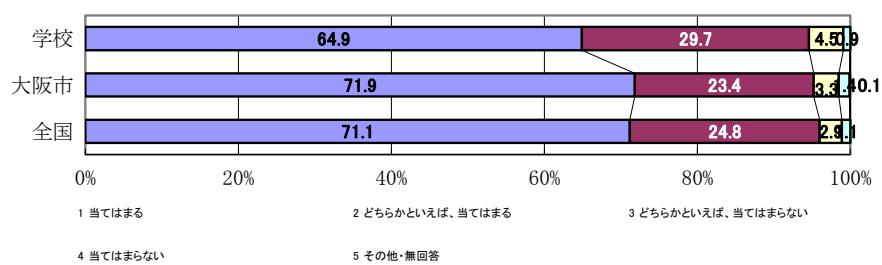
13

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



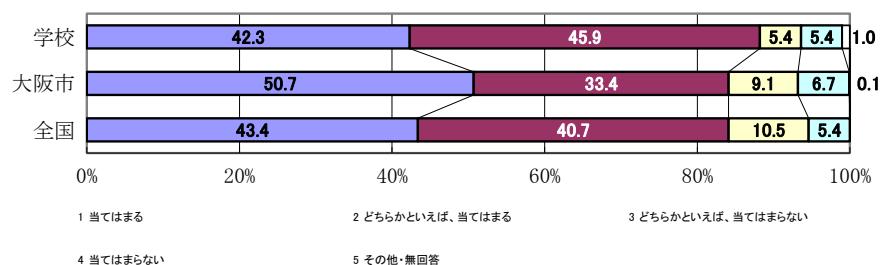
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



9

自分には、よいところがあると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか

